

横浜市立みなと赤十字病院

心臓病センター 心臓血管外科



診療実績 2025

 日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

横浜市立みなと赤十字病院

心臓血管外科

2014年 11月～ 新チームの心臓血管外科となり11年が経過しました。
皆さまの温かいサポートで大きなトラブルなく診療を行えています。

横浜市立みなと赤十字病院 心臓血管外科 スタッフ

2014年

部長 田淵
伊藤 (講師)(17年目)
野村 (助教)(8年目)
藤森 (医員)(4年目)

2016年

部長 伊藤
医長 中野(7年目)
医員 横山(6年目)

田淵医師 (2016.3)
日赤本社へ

2018年

部長 伊藤
医長 佐藤(12年目)
医長 橋本(10年目)
医員 山本(7年目)

2020年

部長 伊藤
医長 佐藤(14年目)
医長 橋本(12年目)
医員 三好(11年目)

2021年

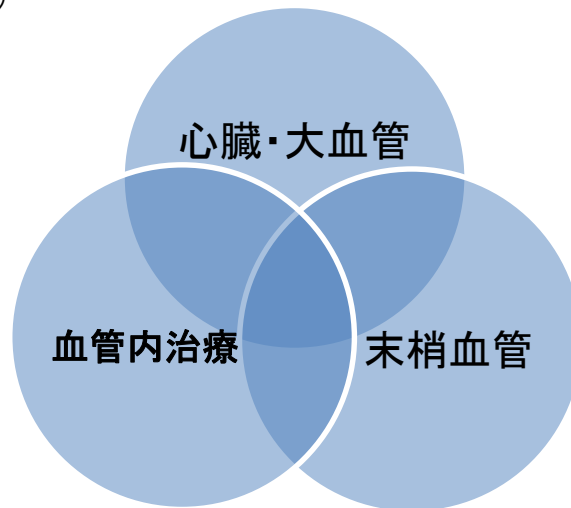
部長 伊藤(24年目)
医長 佐藤(15年目)
医長 橋本(13年目)
医員 三好(12年目)
医員 河原(5年目)

2025年～

部長 伊藤(28年目)
副部長 佐藤(19年目)
医員 住吉(13年目)
医員 山田(7年目)
医員 蓮井(6年目)
医員 山口(5年目)

循環器内科
心エコー専門医
有馬先生
萬野先生

循環器内科
心エコー専門医
有馬先生



 日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

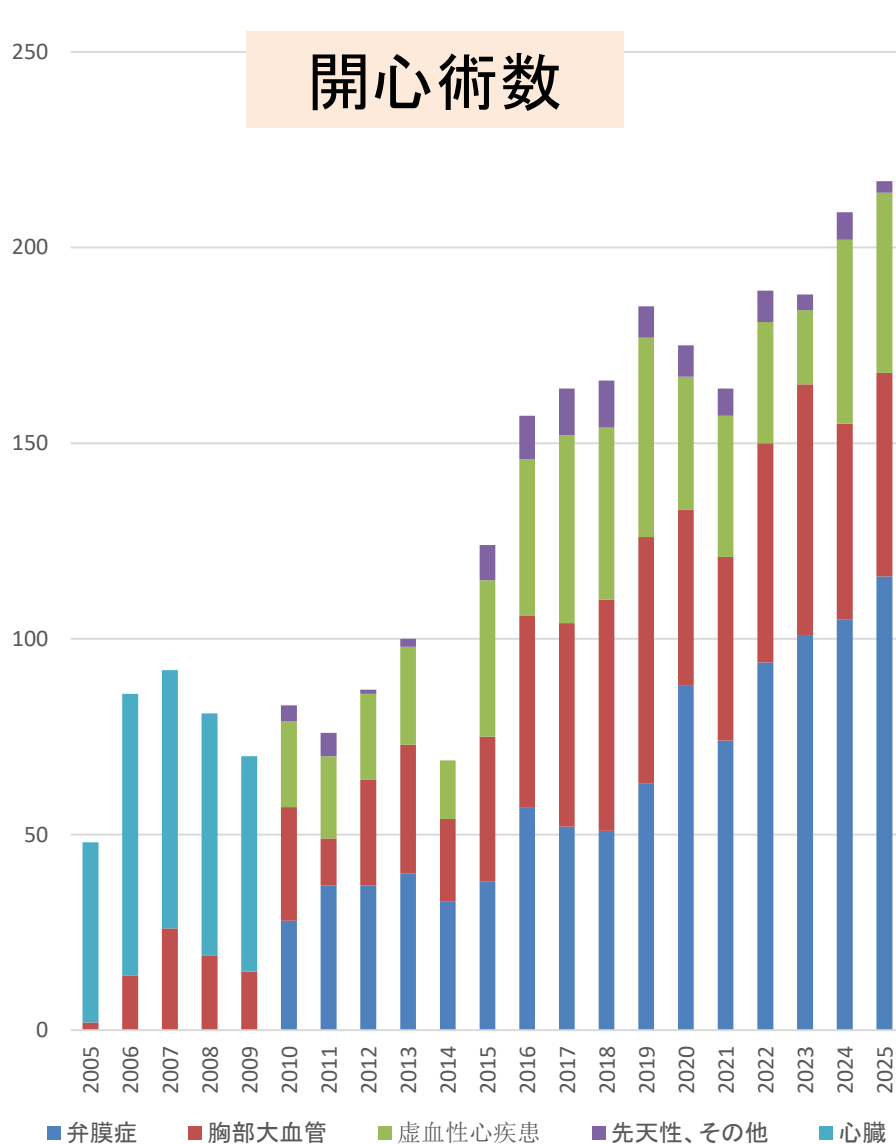
横浜市立みなと赤十字病院

診療実績

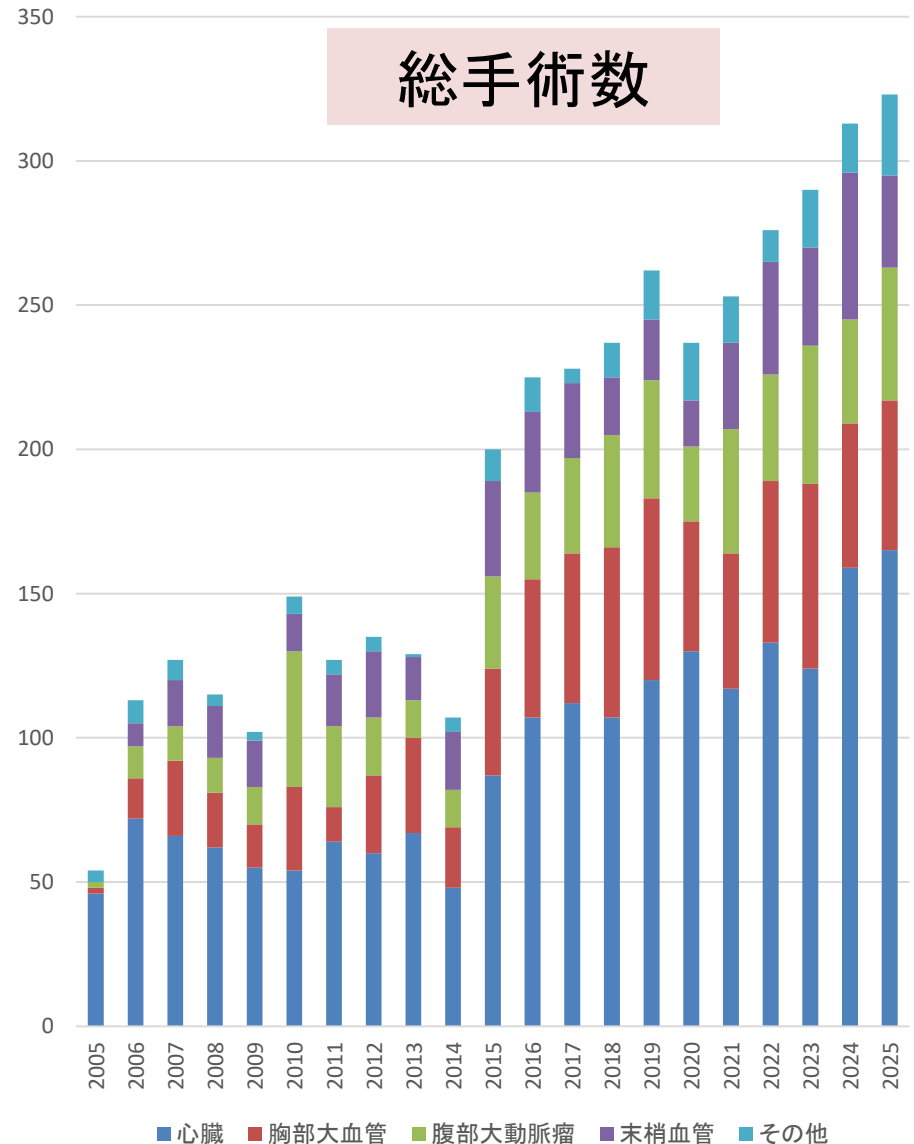
	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025
虚血性心疾患 CABG(OPCAB)	40 40(39)	40 31(31)	48 42(38)	45 34(33)	51 40(37)	34 32(29)	36 32(30)	31 25(25)	19 14(14)	47 44(42)	46 43(42)
弁膜症	38	57	52	51	63	88	74	94	101	105	116
TAVI/MiraClip					5	22	18	36/7	31/17	33/9	34/10
胸部大動脈疾患	37	49	52	59	63	45	47	56	64	50	52
開胸(急性解離)	26(17)	33(21)	41(21)	39(19)	48(20)	38(16)	35(18)	45(22)	50(21)	41(14)	40(21)
胸部ステントグラフト	11	16	11	20	15	7	12	11	14	9	12
先天性、他	9	11	12	12	8	8	7	8	4	7	3
開心術合計	124	157	164	167	185	175	164	189	188	209	217
腹部大動脈瘤 (破裂)	33(6)	28(2)	26(4)	39(5)	41(2)	26(2)	43(3)	37(5)	48(8)	36(3)	46(5)
腹部ステントグラフト	19	19	18	21	14	14	21	18	25	21	30
末梢血管	19	30	33	20	21	16	30	39	34	51	32
その他	16	12	5	11	17	20	16	11	20	17	28
合計	200	226	228	237	262	237	254	276	290	313	322

診療実績

開心術数



総手術数



診療実績

2025年 開心術疾患別手術死亡率

	定時	緊急	Total
虚血性心疾患	0/29(0%)	2/17(11.8%)	2/46(4.4%)
弁膜症(開胸)	1/60(1.6%)	0/12(0%)	1/72(1.4%)
TAVI	0/30(0%)	0/4(0%)	0/34(0%)
MitraClip	0/10(0%)		0/10(0%)
胸部大動脈	0/ 27(0%)	2/25 (8%)	2/52(3.8%)
(破裂性)	-	0/4(0%)	
(急性A型解離)	-	2/21(9.5%)	
先天性、他	0/3(0%)		0/3(0%)
Total	1/159(0.6%)	4/58(6.9%)	5/217(2.3%)

虚血性心疾患

手術件数 **46例** (昨年 47例)

単独CABG

43例

その他

3例

OPCAB	38
MICS-CABG	2
OPCAB+左心耳閉鎖	2
CABG(on pump beating)	1

左室破裂修復術	1
VSP修復術+TAP(redo)	1
左室形成術	1

昨年3例

昨年44例

早期治療成績（虚血性心疾患）

2025.1～2025.12

患者背景	術前	術中 (単独CABG N=42)		術後	
症例数	46	グラフト使用		手術死亡率	4.3% (2/46) 緊急症例
男性	73.9%(34/46)	左内胸動脈使用率	95.2%(40/42)	定時手術死亡	0% (0/28)
年齢	71.2	右内胸動脈使用率	73.8%(31/42)	平均在院日数	17.6日
75>	47.8%(22/46)	大伏在静脈使用	81.0%(34/42)	合併症 (緊急も含む)	
80>	17.4%(8/46)	平均バイパス枝数 (MICS-CABG除く)	3.4枝	脳合併症	2.2%(1/46) 緊急SAVE1例
HT	82.6%(38/46)	平均手術時間	292 min	再開胸止血	0%(0/46)
DM	37.0%(17/46)	Impella併用	6.5%(3/46)	胸骨骨髓炎	0%(0/46)
DL	78.3%(36/46)	術後CAG施行	74%(34/46)	肺炎	6.5%(3/46)
CKD on HD	6.5%(3/46)	左内胸動脈グラフト 開存率	100%(36/36)	呼吸不全	10.9%(5/46)
Smoke	43.5%(20/46)	右内胸動脈グラフト 開存率	96.6%(28/29)	自宅復帰率	76%(35/46)
低左心機能	21.7%(10/46)	大伏在静脈グラフト 開存率	96.7%(29/30)		
脳梗塞既往	8.7%(4/46)				
IABP術前	26.1%(12/46)				
緊急手術	37.0%(17/46)				

虚血性心疾患

総括

虚血性心疾患は46例17→47→46例であり、昨年から横ばいだった。一方で緊急手術は17例であり、昨年の12例と比較すると増加した。

- 虚血ハートチームカンファレンス2024.4～を行っていることもあり、手術症例が安定しつつある。
- 救急隊員へのホットライン2024.10～を開始しACS症例の増加、かつ循環器内科との綿密なコミュニケーションによって緊急手術は増加している。

手術では、緊急手術では在院死亡があったものの、定時手術での在院死亡は認めなかった。

迅速な対応・手術合併症ゼロを目指し周術期合併症の予防とgraft開存率を高め治療成績向上に努めたい。また、近医や循環器内科との連携をさらに強化していきたい。

弁膜症 (TAVI、虚血性MRは除く)

手術件数 弁膜症 114例(開心術72例)

(昨年 63例)

AVR 17

AVR+MVR 1

AVR+MVP 1

AVR+TAP 1

AVR+CABG 2

AVR+LAAC 4

AVR+MVP+TAP 1

AVR+MVP+LAAC 1

AVR+TAP+CABG 1

AVR+CABG+LAAC 1

AVR+TAP+CABG+LAAC+PVI 1

MICS-MVP 7

(完全鏡視下 4)

MICS-AVR 5

MICS-MVR 1

MVR 1

MVP 4

MVR+TAP 2

MVP+TAP 4

MVR+LAAC 1

MVR+Morrow 2

MVR+TVR 1

TAP+右房腫瘍切除 1

TAP+ASD閉鎖 1

MVR+TAP+LAAC 1

MVP+TAP+LAAC 4

MVR+TAP+CABG 2

MVR+TAP+CABG+ASD閉鎖 1

Redo MVP+TAP+LVRAシャント閉鎖 1

Redo AVR 2

早期治療成績（弁膜症：開心術）

2025.1～2025.12

患者背景		術中		術後	
症例数	72	AS 弁膜症	17% (12/72)	手術死亡率	1% (1/72)
男性	75% (54/72)			定時手術死亡率	1.7% (1/60)
年齢	70歳(22-91)	MVP	33% (24/72)	術後在院日数	14日(9-94)
75>	32% (23/72)	予期せぬMVR移行	4% (1/24)	合併症	
80>	13% (9/72)			脳合併症	1% (1/72)
HT	36% (26/72)	手術時間	285分	再開胸止血	1% (1/72)
DM	18% (13/72)			胸骨骨髓炎	0% (0/72)
DL	24% (17/72)			肺炎 気切	0% (0/72)
CKD on HD	11% (8/72)			ECMO	1% (1/72)
脳梗塞既往	7% (5/72)			PMI	0% (0/72)
Af	31% (22/72)			左室破裂	1% (1/72)
緊急手術	4% (3/72)			自宅退院率	94% (68/72)
準緊急	13% (9/72)				

早期治療成績（弁膜症：TAVI）

2025.1～2025.12

手術件数 34 例（緊急0例,準緊急6例）（昨年32例）

TF-TAVI	33 例
TA-TAVI	1 例

平均年齢 86.5 (78-**96**)

入院期間 7日(4-24)

死亡 **0例**

合併症 Major合併症はなし

Minor

穿刺部仮性瘤 2 例

PMI 1 例 リードレスPM挿入

自宅退院率 **97 %** (33/34)

* 1例は術前心不全で廃用が進み術後24日目にリハビリ転院

弁膜症疾患

総括

開心術は、63例→72例と増加した。75歳以上が30%から32%とほぼ変わらなかった。高齢者にはTAVI、Mitraclipを選択する傾向にある。

開胸AS症例は、2023年40%→2024年14%と減少傾向であったが、今年は17%とやや増加し、連合弁膜症や虚血性心疾患の合併症例が多い印象であった。

MICS手術は11例から13例と今年も増加傾向で、特に、完全胸腔鏡下僧帽弁手術を4例行った。

TAVIは、33例→34例と横ばいであり、死亡症例はなかった。Evolutも開始し大きな合併症なく経過している。MitraClipが、2022年4月より開始され毎年10例前後で今年も変わりはなかった。来年はTriClipに向けて症例を重ねていく。

弁膜症ハートチームにより**SHD治療を含めた弁膜症治療の質が高まっている**。周辺施設との連携を強め症例数を伸ばしていきたい。

胸部大動脈疾患

手術件数 **52例** (昨年 50例)

胸部大動脈瘤(開胸) 19

上行置換	2
上行置換+AVR	6
上行置換+AVR+左室形成	1
全弓部置換	1
全弓部置換+FET	3
全弓部置換+AVR	1
全弓部+FET+AVR	1
全弓部置換+AVR+CABG	1
再開胸全弓部置換	1
部分弓部置換	1
胸腹部置換	1

急性A型大動脈解離 21

上行置換	16
上行置換+AVR	1
上行置換+MVP	1
弓部置換	1
基部置換	1
再開胸上行	1

胸部ステントグラフト内挿術 12

TEVAR	12
緊急4(破裂PMEG TEVAR 2, DSINE 1, Vascular DIC 1)	
定時8(PMEG3, PMEG+preemptive 1, Preemptive 3, 通常1)	

早期治療成績（胸部大動脈疾患）

2025.1～2025.12

患者背景		術中		術後	
症例数	52	DA 上行置換術	N=19	手術死亡率	3.8% (2/52)
男性	63.5%(33/52)	DA 弓部置換術	N=1	在院死亡率	5.8% (3/52) 緊急3例
年齢	72.7歳	DA 基部置換	N=1	定時手術 手術死亡率	0%(0/27)
>75	54%(28/52)	平均手術時間	323Min	緊急手術 手術死亡率	8%(2/25)
>80	25%(13/52)	平均人工心肺時間	185Min	平均在院日数	16日
HT	81%(42/52)	平均循環停止時間	19.4Min	合併症	
DM	25%(13/52)	平均下半身循環停止	38.5Min	脳合併症	3.8%(2/52) A解離緊急
DL	38%(21/52)	TEVAR	N=12	再開胸止血	1.9%(1/52)
CKD on HD	3.8%(2/52)	平均手術時間 (debranch除く)	137.5min	縦隔炎	0%(0/52)
Smoke	29%(15/52)			肺炎	3.8%(2/52)
脳梗塞既往	1.9%(1/52)			自宅復帰率	85%(41/48)
緊急手術	48%(25/52)				

胸部大動脈疾患

総括

胸部大動脈手術は、前年と比較し、47→56→64→50→52例と横ばいであった。急性大動脈解離Stanford A症例は18→22→21→14→21例と増加した。ハイブリッド手術(OSG)は、8→11→7→4例と減少した。TEVARは、12→11→14→9→12例と増加した。

手術では、定時手術では手術死亡・在院死亡を認めなかった。緊急手術例で24例中3例 急性A型解離症例で在院死亡があった。

患者搬送サービス(2025/12～)も開始となり緊急症例の迅速な対応が可能となった。

今後も緊急手術症例は断ることなく、迅速に対応し手術死亡率ゼロを目指し治療成績向上に努めたい。

その他の開心術

手術件数

3例

疾患別

心房内血栓症	2
心房内腫瘍	1

術式別

左房内血栓除去+左心耳切除	2
心房内腫瘍摘出	1

腹部大動脈瘤

手術件数

46例（緊急 4 例）

（昨年 36例）

疾患別

術式別

腹部大動脈瘤	41例	開腹人工血管置換術	16例（緊急 2）
腹部大動脈瘤+腸骨動脈瘤	4例	Y graft or Straight graft	12例
感染性総腸骨動脈瘤	1例	Y graft+内腸骨再建	2例
		Y graft+腹腔動脈・上腸間膜動脈バイパス	1例
		ステントグラフト感染 結腸-大動脈瘻(緊急)	1例
		腹部ステントグラフト内挿入術	30 例（緊急 2）
		EVAR	7例
		EVAR+内腸骨塞栓	10例
		EVAR+IMA and/or腰動脈塞栓	11例
		EVAR+上殿動脈温存	1 例
		EVAR+腎動脈PTA	1 例

死亡2例(緊急症例)

末梢血管・その他

手術件数

60例

定時20

緊急40

疾患別	
急性下肢動脈閉塞	8
仮性動脈瘤(感染性含む)	3
PAD	13
術後出血	6
心タンポナーデ	3
EVAR(TEVAR)後エンドリーク	1
SMA解離	1
外膜囊腫	1
動静脈瘻	1
循環不全	10
その他	13

術式別	
ECMO抜去	9
IMPELLA抜去	4
IMPELLA5.5挿入	1
腎動脈瘤or腰動脈コイリング	2
心嚢ドレナージ	3
内膜摘除	6
動静脈瘻閉鎖術	1
血栓除去	9
再開胸止血術	6
上腕動脈バイパス	1
F-P バイパス	5
I-Fバイパス	2
その他	8

末梢血管32例 その他28例

DirectAorta Impella5.5
Indygo導入した



横浜市立みなと赤十字病院 心臓病センター